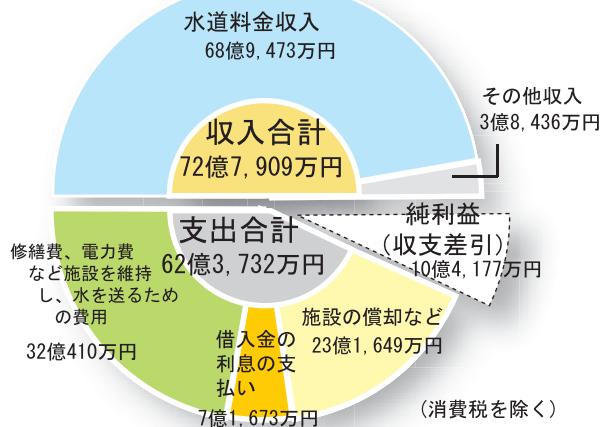


平成21年度 水道事業会計決算

施設の耐震化への取組が急がれる一方、水需要の低迷から厳しい状況に置かれていますが、経営改善の継続により健全財政を確保するとともにサービスの向上に心掛け、市民に信頼される水道事業を目指しています。

ご家庭に給水するための収入支出

(収益的収支)



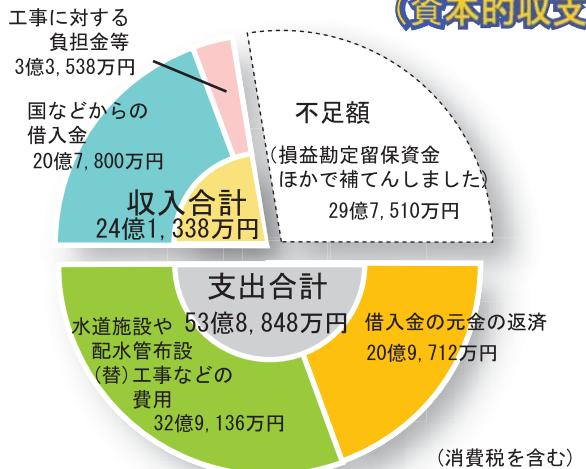
収入は約72億8千万円、支出は約62億4千万円で純利益は約10億4千万円となりました(消費税を除く)。

この純利益は、資本的支出における借入金(企業債)の元金返済に充てるため減債積立金に積み立てます。

また、収入のうち料金収入については、前年度に比べて使用水量が減少したため約1億4千万円の減収となりました。

水道施設を整備・拡充するための収入支出

(資本的収支)



収入は約24億1千万円、支出は約53億9千万円となり、約29億8千万円の収支不足となりました(消費税を含む)。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金(企業会計上、収益的収支において、減価償却費などの現金支出を伴わずに内部に留保される資金)などで補てんしました。

また、企業債の残高は約271億1千万円(平成20年度末に比べ約2千万円の減)となっています。

NEWS CLIP ニュースクリップ

早明浦ダムと風力発電見学

高知市の上水道の約3割をまかなっている吉野川水系。その本流にある早明浦ダムの見学などをとおして、水資源やエネルギー、水道への理解を深めてもらおうと、8月8日にバスツアーをおこないました。

バス内で高知市の水道事業やダムのさまざまな役割を学習しながら早明浦ダムへ到着した参加者は、ダム内部や発電所内部の見学をしました。その後、ダムを管理する水資源機構の職員の指導で水質の簡易テストを体験し、おいしい水を守っていくために、川に汚れたものを流さないことを



守ることを実践しました。

が大切であることを学びました。

甫喜ヶ峰では、県公営企業局の職員の指導でペットボトルを使って風車を製作。各自工夫を凝らした風車に風をあてて発電量を競いました。その後山頂の風力発電施設を見学し、エネルギーの大切さを学びました。



春野地区と緊急時用連絡管で接続

横浜新町にある南部配水池の水を春野地区に給水できるよう工事を進めていた緊急時用連絡管が8月に完成了。

これは、災害などで弘岡上と森山にある地下水源の機



能が低下した場合でも、春野地区の給水を確保するためのもので、緊急時には春野地区の使用水量の半分近くを供給できます。

これにより、春野地区の人口密集地区である南ヶ丘、平和、管末地区である内ノ谷、芳原、東諸木地区の使用水量をカバーできます。

高知市総合防災訓練

9月5日、イオンモール高知東隣の特設会場で、高知市総合防災訓練がおこなわれました。



陸上自衛隊、四国電力、NTT、市内の病院、消防など約500人が参加しておこなわれたこの訓練は、防災機関との連携強化、市民の防災意識の高揚を図ることを目的としています。

高知市水道局と高知市管工事設備業

平成21年度に実施した主な事業

■送配水施設整備事業

長浜ほかで配水管を約3.3キロメートル布設しました。

■漏水防止対策事業

桟橋通二丁目・神田ほかで約11.4キロメートルの老朽管の布設替をおこないました。また市内全域で延べ約1,157キロメートルの漏水調査をおこない、548件の漏水箇所を発見しました。

■災害対策事業

送水幹線二重化事業の1工区建築工事、鏡川水道橋の右岸側耐震補強工事、災害対策用資機材備蓄倉庫(桟橋通四丁目)の建築工事が完成しました。また、城西公園に18基目となる耐震性非常用貯水槽を設置しました。



■増補改良事業

桟橋通四丁目ほかで配水管布設替・移設工事をおこないました。平成17年度からの継続事業である旭浄水場(浄水施設)更新事業は、管理棟新築工事などが完成し、5年間の事業を完了しました。旭浄水場更新事業としましては、引き続き配水施設と導水施設の更新をおこないます。また、針木浄水場の浄水施設整備などをおこないました。



■水源地域対策事業

水源かん養林の整備をおこなうとともに、水源地域との交流事業として「水のふるさとフェスティバル」や「早明浦ダム見学バスツアー」などをおこないました。

水道事業活動における二酸化炭素排出量等

原水(取水量)43,847,586m³

投入に対する排出 (平成21年度)

水道水(配水量)42,272,256m³

投入量

電力	1,918万 kWh
燃料 重油	8 kL
LPG	230 kg
都市ガス	160 m ³
ガソリン・軽油	31 kL
薬品	367 t

- 薬品は、原水中の不純物を凝集させる凝集剤(ポリ塩化アルミニウムなど)、pH調整のための水酸化ナトリウム、消毒用の次亜塙素酸ナトリウムなどです。
- CO₂(二酸化炭素)の排出量は電力やガソリン・都市ガスといった燃料の使用量から算出していますが、電力によるものが最も多く約98.6%を占めています。
- NO_x(窒素酸化物)、SO_x(硫黄酸化物)の排出量は電力の使用量から算出しています。
- 廃棄物は工事中に発生する建設発生土やアスファルト塊、鉄くず等の産業廃棄物及び浄水の過程で発生する汚泥から算出しています。

排出量

CO ₂	6,926 t-CO ₂
NO _x	9.59 t
SO _x	9.59 t
廃棄物等	8万1,111 t (うち有効利用 1万3,326 t)

協同組合は、地震発生により水道管が破断した想定で、水道管の復旧と応急給水栓・消火栓の設置訓練をおこないました。

旭浄水場の工事進捗状況

施設の老朽化に伴い、平成17年度から平成28年度の予定で更新工事中の旭浄水場では、水道山公園山頂にある配水池の全面更新工事を開始しました。

山頂に通じる道が狭いため、浄水場内に作業道を仮設し、大正14年より使用してきた1号配水池の撤去作業を進めています。

予定では、平成22年末までに撤去作業を完了し、円筒形の1号配水池が完成するのは平成23年9月の予定です。

2号・3号配水池については、1号配

3つの配水池の全面更新が完了するまでは、水道山公園での花見ができるなどご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

また、鏡川の廓中堰北にある鏡川第1取水所から旭浄水場間で、導水管の布設替工事を開始します。

この工事は、鏡川第1取水所と旭浄水場に立坑を掘ってミニシールド工法により地下約4~11メートルに管を設置します。

JICA研修生が針木浄水場を見学

8月23日と9月8日に針木浄水場を国際協力機構(JICA)の研修生がそれぞれ20名見学しました。

この研修は「水貧困地域における統合的水資源・環境管理政策」としてJICAが開発途上国から研修生を受け入れて実施したもので、9日間の日程で上水施設のほか、下水処理施設やコンポスト型循環有機肥料生産施設などを見学したものです。

針木浄水場では、仁淀川からの取水が、河床下約10メートルに埋設した

ステンレス製集水管によって、水質とメンテナンスフリーを高度に実現している点に特に高い関心を示し、多くの質問がありました。



水道週間懸賞で入選

日本水道新聞社などが共催で毎年「水道週間」(6月1日~7日)にあわせて、全国から募集している第52回水道週間懸賞の「習字の部小学校高学年」(応募総数2,675点)に高知市の揚田祐加さんが入選されました。

あけた ゆうか
揚田 祐加さん
高知市立
昭和小学校5年



1号配水池の撤去作業